

安全対策 事例①



令和元年7月30日・31日 新潟市にて開催  
臨場感あるVR体験で、現場作業時の労働災害を防止

フォレストワーカー育成研修 林業の労働安全

①研修1日目の実習では、新潟初登場のVR体験に皆さん興味深々。写真右が体験者。VRゴーグルを装着して映像の指示に従って動く。コントローラーがチェーンソーなのもリアル ②見学者は体験者が見ている映像をパソコンのモニターで確認する ③VRで疑似体験した事故の衝撃は体験者の記憶に残り、労働災害予防につながるという ④「労働災害を防ぐために一番大切なのは、前段階で予測していくこと。たくさん経験を積むことで危険を予測し、回避できるように」と林業労働力確保支援センターの相馬寛樹さん ⑤2日目は班ごとに分かれて、労働災害を起こさないための手法と実践法を学んだ



新潟県森林組合 連合会  
小林祐太 さん  
年齢:33歳  
林業経験:3年目

伐倒作業中に伐木が自分に  
ずれ落ちる事故を疑似体験  
しました。想定外の木の動き  
に驚きました。予想したより  
もずっと怖かったです。つら  
がらみの災害事例を見て、  
作業時は気を引き締めよう  
と思いました。

新潟県森林組合 連合会  
佐山拓也 さん  
年齢:39歳  
林業経験:3年目



この仕事に就いた時、先輩  
から初めに言われたことが  
「安全第一」でした。日々、事  
故に注意していますが、研  
修ではこれまでに気づけな  
かったことを学ぶことができ、  
今後の安全作業に活かした  
と思います。



村上市森林組合  
吉光信幸 さん  
年齢:50歳  
林業経験:9年目

今後の安全対策のために参  
加しました。災害事例の講  
義やVR体験など、研修で学  
んだことを有効に活かし  
ていきたい。会社ではさらなる  
安全教育を徹底し、無事  
故・無災害に向けて指導し  
ていきたいと思っています。

「令和元年度フォレストワーカー育成研修 林業の労働安全 カリキュラム」

日程	時間	研修の内容	場所
7/30 (火)	9:00 ~12:00	【講義】 ・林業労働災害の現状災害事例 ・労働災害防止に関する法令	越後森林館 こだまホール
	13:00 ~16:00	【実習】 VR林業労働災害シミュレーターによる 林業労働災害体験、災害防止策の検討	
7/31 (水)	9:00 ~12:00	【講義・実習】 ・リスクアセスメントの目的、意義、手法	
	13:00 ~16:00	・リスクアセスメントの実践	

林業の死亡災害はチェーンソーでの伐倒  
作業中に最も多く発生している。危険を回  
避するため、死亡災害がどのような状況で  
起きるのかを具体的にイメージできるよう  
になることはとても重要だ。林業現場の技  
術者を育成するフォレストワーカー育成研  
修の「林業労働安全」のカリキュラムにて、新  
潟県で初めてとなる「林業労働災害シミュ  
レーターVR体験」を導入。労働災害の現状  
や労働安全関係法令の講習後に参加者全員  
が実際にVRを体験した。VR用のヘッドマ  
ウントディスプレイを顔に装着し、チェー  
ンソー一体型のコントローラーを持って、映像  
に従って作業を行うと死亡災害を疑似体験  
できるという仕組み。見学者は体験者が目  
にしている映像をパソコン画面で見ながら  
発生原因や回避方法を考える。体験できる  
内容は、伐木が自身にずれ落ちる、つら  
みによる背面からの倒木、幹割れ、伐倒によ  
る作業員の巻き込みなど、どれも実際の災  
害事例をもとに開発されている。臨場感溢  
れるVRでの疑似体験はインパクトがあり、  
受講者の記憶に鮮明に残った様子。「この体  
験を実際に現場での作業時に活かして、事  
前に何が起るか予測して回避してほしい」と  
講師の相馬寛樹さん。研修に参加してい  
た新潟県林政課主査の星野康子さんも「現  
場では予想外のことが起きて労働災害につ  
ながります。今まで口頭でしか説明できな  
かった災害事例をVR体験できたのはとて  
も良かったと思う」と話した。